

3. 活動内容

○地域の自然と触れ合う環境の学習

校区を流れる「母なる豊川」とのかかわりを中心として自然に親しむ・自然を守るといった地域を題材とした環境教育の学習活動を実践しています。

2年生では、「親子ふれあい活動」において豊川の河川敷でシジミ採りを実施しています。親子が一緒になって取り組む活動です。ここで取れたシジミは家庭に持ち帰り、お味



親子でしじみとり
「大きいのが小さいのたくさん採れたよ」

噌汁の具にするなどして賞味します。子どもたちは「豊川のシジミを初めて食べたよ。おいしかったよ。」と嬉しそうに話し、豊川のもたらす恵みを感じ取ることができます。

4年生では、リバーウォーク（豊川の堤防沿いを学年で歩きその様子を観察する活動）を行ったり、水道等の学習から生活用水にかかわる豊川の大切さについて学んだりしています。また、このような豊川とかかわりのある活動を行う際には、豊川河川清掃（豊川クリーン活動）も合わせて実施しています。



リバーウォーク
「豊川沿いを歩いて、川の様子を調べたよ」

○施設訪問による福祉の学習

5年生の児童が、校区にあるいくつかの福祉施設を訪問し、施設利用者との交流を行います。障がい者が働く施設では、その仕事ぶりや仕事の内容に触れることができます。また、子どもたちも実際に仕事をするという体験をさせていただいています。障がいのある人が働き、社会に貢献する姿を見ることで、障がい者への理解を深めることにつなげています。老人福祉施設では、老人とゲームを楽しんだり、施設の見学をしたりします。お年寄りの生活に触れ、接し方を学ぶことをしています。さらに、福祉に関する書籍を利用した調べ学習を行い、福祉への理解を深めています。



訪問体験活動
「いろいろな仕事があるんだね」

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）